

九州運輸局メールマガジンのご利用ありがとうございます。
九州運輸局幹部による【リレーコラム】が始まりました。今号は九州運輸局長 福本啓二です。

=====
【目次】

【九州運輸局ホームページアップ情報】(9月25日~10月1日掲載分)

- トピックス
- プレス発表
- お知らせ
- 入札・契約情報
- 九州統計情報
- 分野別情報(申請公示、申請・処分状況)

【現場レポート】

- 物流人材発掘事業講座を開催!
- 国際技術協力を推進

【九州運輸局セミナー】

- 運輸安全マネジメント制度

【リレーコラム】九州運輸局長 福本 啓二

【編集長だより】広報対策官

=====
【九州運輸局ホームページアップ情報】(9月25日~10月1日掲載分)

トピックス

- ・地域公共交通活性化・再生シンポジウム In 九州(平成21年8月26日開催)~皆の手が支える公共交通の構築を目指して~(9月29日)

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kikaku/file08.htm>

- ・旅客自動車運送事業運輸規則等及び貨物自動車運送事業輸送安全規則等の一部改正について(10月1日)

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/topics/file033/file033.htm>

- ・道路運送法及び貨物自動車運送事業法に基づく運行管理者資格者証の返納命令基準等の一部改正について(10月1日)

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/topics/file034/file034.htm>

プレス発表

《地域交通》

- ・10月1日より、九州各地で「地域公共交通活性化・再生総合事業」を活用した実証運行が開始されます!~九州内の11地域で運航開始~(9月29日)

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press090929_3.pdf

《観光》

- ・台湾教育旅行関係者のファムトリップを実施します!(10月1日)

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press091001.pdf>

《交通環境》

- ・「交通エコロジー教室」を開催~交通環境を学ぶ。大学教授と小学生のコラボ~(10月1日)

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press091001_2.pdf

《物流》

- ・物流って、何?「物流人材発掘事業」講座開催!~福岡大学 物流業界セミナー~(9月29日)

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press090925.pdf>

- ・自動車部品輸送の効率化に向けた取り組みを支援~平成21年度「物流連携効率化推進事業」公募結果(2次募集)~(9月30日)

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press090930.pdf>

《鉄道》

- ・九州の鉄道120周年 毎年10月は「九州・レイルマンス」今年もイベント盛りだくさん!!(9月29日)

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press090929_2.pdf

お知らせ

- ・平成21年度行政相談週間実施(10月1日)

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_021/file055/file055_21_10_2.pdf

- ・平成21年度第2回自動車運送事業者無事故表彰の公示について(10月1日)

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_021/file055/file055_21_10.pdf

入札・契約情報

・企画競争実施予定の公表について(9月28日)

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/koukyou/kikakukyousou_090928.pdf

・企画競争実施公示(9月28日)

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list2.html#KIKAKU_KOUJI

・入札監視委員会(9月30日)

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/nyusatsukanshi/kanshi_21.pdf

九州統計情報

・自動車保有車両数(最新)(10月1日)

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/j_touroku/syaryousuu2108.pdf

・新規登録自動車数(最新)(10月1日)

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/j_touroku/shinkitouroku2108.pdf

・全国自動車台数(最新年度末(10月1日))

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/j_touroku/zenkokusyaryousuu21_03.pdf

分野別情報

・申請公示、申請・処分状況(10月1日)

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/list.html#b_kouji

=====

【現場リポート】

物流人材発掘事業講座開催！

専門的知識や技能を有し経済活動の根幹部分を支えてきた「団塊の世代」の労働者が65歳を超える「2012年」以降は、我が国の労働力市場から一定量がなくなると言われており、人材確保がもともと難しいとされる物流業界においては、人手不足が一層顕著に現れることが懸念されています。

近年の物流を取り巻く環境は、急速に進むグローバル化や京都議定書第一約束期間の開始を契機とした地球温暖化対策の必要性の増大、貨物セキュリティ確保の要請の高まり等様々な変化が生じています。

物流は経済活動、国民生活に欠かせないライフラインであり、輸送効率の向上、国際展開など高度化する物流ニーズに対応できる人材が求められています。

このような情勢を踏まえ、九州運輸局では(財)九州経済調査協会ほか物流関係会社の皆様のご支援を得て、9月30日に物流業界セミナー「物流人材発掘事業・物流学外講座」を福岡大学(福岡市)にて実施しました。

セミナーには同大学商学部の学生を中心とした84名(内社会人3名)が参加し、鋭い質問をする者や熱心にメモを取る者、講義終了後も講師に質問をする者など、関心の高さが伺えました。

本講座は計3回シリーズの講座となっており、引き続き10月7日、14日にも開催されます。本講座は平成19年度から実施していますが、大学生に物流を正しく伝える場を提供していることに対し物流事業者から感謝の言葉を、福岡大学からも是非来年度以降も継続して開催して欲しい旨強い要望を頂いています。

また、今年度は中村学園大学(福岡市)からも強い開催要望があり、10月14日、15日、21日には同じく3回シリーズの「物流業界セミナー」を開催することとなりました。

ほかにも、「物流施設見学会」を福岡市内の「Mr.MAX」(11/11)「香椎パークポート」(11/11、12/2)「JR貨物福岡ターミナル駅」(11/11、12/2)「岩田屋配送センター」(12/2)において実施する予定となっています。

この一連の「物流業界セミナー」「物流施設見学会」は、大学生に対し「物流」への正しい理解・認識を促し、物流業に興味、関心をより強く持ってもらうことにより、将来の「物流業界や荷主企業(物流部門)」を担う優秀な人材の開拓・発掘に繋げることを目的としており、今後も引き続き各種の「物流人材事業」(発掘、育成、アドバイザー事業)に取り組み、輸送効率の向上、国際展開など高度化する物流ニーズに対応できる優れた人材の育成に努めてまいります。(交通環境部物流課)

国際技術協力を推進

JICA(独立行政法人国際協力機構)とKITA(財団法人北九州国際技術協力協会)が国際技術協力の一環として共同で実施している技術研修を、東南アジア8カ国(中国、モンゴル、ベトナム、インドネシア、ラオス、ミャンマー、カンボジア、フィリピン)の政府環境部門の行政官、大学教授など16名(男性7名、女性9名)の参加により、9月10日北九州自動車検査登録事務所で行いました。

研修項目は、自動車検査独立行政法人自動車検査官を講師とした「日本における車検制度、車検業務及び自動車排ガス対策」についての講義と、自動車検査場の施設見学でした。

実際に検査ピットに入り車両を使用した検査見学では研修生は好奇心を隠すことなく、検査官に

自動車の触媒について熱心に質問したり講義内容を再確認したりと熱心な様子で、初めて車両を下方から見た研修生は驚きの声を上げるなど非常に有意義な研修となったようです。北九州自動車検査登録事務所と自動車検査独立行政法人九州検査部北九州事務所は、今後も国際技術協力の推進のため、JICA や KITA と連携してこのような機会を積極的に設けて参りたいと思います。(北九州自動車検査登録事務所)

=====

【九州運輸局セミナー】

運輸安全マネジメント制度

平成 18 年 10 月から始まった運輸安全マネジメント制度も 4 年目を迎えました。九州運輸局でも 360 を超える鉄道・自動車・海運の運輸事業者に対し運輸安全マネジメント評価を実施し、様々な助言等を行ってきたところで、

運輸事業におけるサービスの基本が「輸送の安全の確保」にあることは異論がないところです。しかしながら、事故やトラブルが発生していることも事実です。平成 17 年にヒューマンエラーが原因と見られる事故等が多発し、そこには安全意識・安全風土の低下があったのではないかと考えられました。運輸安全マネジメント制度の導入にはこのような背景がありました。

運輸安全マネジメント制度の特徴は、運輸事業者は自ら設定した安全管理規程に基づく安全管理体制を構築し、積極的に継続的に「P D C A サイクル」を通じて安全に対する取り組みを行い、国は運輸安全マネジメント評価(経営トップをはじめとする経営管理部門へのインタビューや関係書類の確認を行い、安全管理体制の運用状態を確認し助言等を行う)を実施することです。

運輸安全マネジメント制度には 14 項目のガイドラインがあります。経営トップのコミットメント 経営トップの責務 安全方針等 安全統括管理者 要因の責任と権限 情報伝達及びコミュニケーションの確保 事故、ヒヤリ・ハット情報等に関する情報の報告等 重大な事故等への対応 関係法令等の遵守の確保 安全管理体制を維持するために必要な教育・訓練等 内部監査 見直しと継続的改善 文書の作成及び管理 記録の作成及び維持、これらの 14 項目を実施すること、即ち、計画をたて「Plan」(安全管理体制の構築) これを実施し「Do」(安全管理体制の実施) そして自らの取組みをチェックし「Check」(安全管理体制をチェック) 見直しを行う「Act」(安全管理体制の見直し・改善) ことこそが「P D C A サイクル」なのです。この「P D C A サイクル」を繰り返すことで安全性の向上が進められることとなります。運輸事業に携わる現場から経営トップまでの一人一人が運輸安全マネジメント制度の理解を深め、運輸事業の安全性を向上させていきましょう。(総務部安全防災・危機管理調整官)

詳しい情報についてはこちらから <http://www.mlit.go.jp/unyuanzen/outline.html>

=====

【リレーコラム】

九州運輸局では平成 19 年 8 月から「九州運輸局メールマガジン」を発行し、従来の「九州運輸局報」と並存させてきましたが、「九州運輸局報」は 9 月末をもって終了し、今月からはこのメールマガジンに一本化した上でその内容を充実させていくこととしました。従来「九州運輸局報」に掲載していた許認可や行政処分などの実務的な情報は九州運輸局のホームページ <http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/> に掲載することとし、この「九州運輸局メールマガジン」はイベント情報やプレス発表資料など九州運輸局の最新の動きをお伝えすることに重点を置きます。また、毎回職員の生の声も掲載することとし、九州運輸局に親しみを感じていただけるような内容にしたいと考えています。是非ご愛読下さい。

今号では、去る 8 月に福岡で開催した「地域公共交通活性化・再生シンポジウム in 九州」の内容を掲載しています。

地域における足の確保は、人口が減少し高齢化が進む中で公共交通機関に依存せざるを得ない人が増加する一方、採算性の観点から減便や路線の廃止を余儀なくされる交通事業者が増えているという現状にあり、深刻な問題になっています。シンポジウムではこうした状況の改善に向けた各地の取組みが紹介されましたが、特に個人的に印象に残ったのは菊池市の福村市長さんがご紹介された「きくちべんりカー・きくちあいのりタクシー」でした。市長さんが選挙運動中に、道端に座りながら当時のバスを、遠いところまで歩かないと乗れない「不便カー」だ、とお話をされた高齢者に接し、それではぜひ、「べんりカー」と言ってもらえるように考えましょう、ということで、自ら考えて、市街地を巡回する「べんりカー」と、自宅まで迎えに来てくれて低廉な運賃で利用できる相乗り型の「あいのりタクシー」を実現されたものです。具体的にはこれまで郊外を走っていたバスを市街地に回して巡回バスとし、一方市街地を走っていたタクシーの一部を予約に応じて運行する相乗り型にした上で郊外に回すことで、利便性が高く自治体としてのコストも低い公共交通体系を実現されました。市長さんの強力なリーダーシップがあって実現したもので、感服しました。菊池市のプレゼン資料には「自治体が陥りやすい落とし穴」についての説明もあります。是非ご一読下さい。

関連して、今号では、10 月 1 日から九州各地で「地域公共交通活性化・再生総合事業」の実証運行が始まることについてのプレス発表資料を掲載しています。この中でも長崎県や鹿児島県

でデマンド型の乗合タクシーを運行する実験がいくつか予定されています。デマンド型の乗合タクシーや小型バスは人口の少ない地域では有効な足の確保策になると期待されます。

このメールマガジンはこうした情報をこちらからお伝えすると共に、読者の皆さんからの返信もいただき双方向のコミュニケーションを目指しています。感想や提言など編集部にお寄せ下さい。改善に努めていきます。これからも「九州運輸局メールマガジン」をよろしく願います。
(九州運輸局長 福本啓二)

=====

【編集長だより】

「九州運輸局メールマガジン」をご覧いただきお礼申し上げます。初めてご覧いただく方も多いのではないのでしょうか。「九州運輸局メールマガジン」には九州運輸局で所管する運輸、観光、交通環境に関連した施策等の発表や解説、その他にもトピックス、プレス発表、イベント情報等多彩な記事を掲載していく予定です。また、毎週(金曜日)配信することにより最新情報をいち早く皆様にお届けします。「九州運輸局メールマガジン」を編集するにあたり、読者の方にできるだけ分かりやすい言葉で正確に伝えることを心がけたいと思っています。

「九州運輸局メールマガジン」を配信する数ヶ月前から一般国民の方を対象に募集した結果、多数のお申し込みいただき感謝します。さまざまな立場の方からご覧になった感想や要望、提言等をいただき皆様に「親しまれる」メールマガジンに成長するよう編集スタッフ一同努めていきたいと思っています。もっと知りたい情報や感想、要望、提言等ございましたら下記のメールか又はファックスからご自由にお寄せ下さい。

また、「九州運輸局メールマガジン」へのお申込みは随時受け付けていますので、お知り合いの方でも PR していただければ幸いです。

=====

九州運輸局メールマガジン編集長(九州運輸局総務部広報対策官 森 益隆(もり ますたか))
mail : mm-kyushu@qst.mlit.go.jp Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192

◆バックナンバーは、次の URL に掲載しています。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/top.html